



聖 鐘

日本聖公会東京聖三一教会

〒155-0032 東京都世田谷区代沢 2-10-11
TEL 3421-3646 FAX 3414-9023
URL trinity.web.infoseek.co.jp

牧師 司祭 長谷川正昭

識別の霊をもつて

司祭ヨナタン 長谷川正昭

天候不順の日々が続いてい
ます。寒暖の差が激しいので、体調
のバランスを崩しやすいですが、
それでも爽やかな新緑の季節で
す。「目に青葉、山不如帰、初鯉」
と古人が詠っているとおりです。
教会の暦は聖霊降臨節であ
り、風と火がシンボルとなる季節
です。ペンテコステの日に何が起
こったかは周知の事実です。そし
て、異言を語ることが聖霊の賜
物とされたのですが、聖ペテロが
これらの出来事の立役者でした。
しかし、使徒言行録のもう一人
の主役、そして初代教会最大の
伝道者と言われた聖パウロは異
言について少し違った見解を披瀝
しています。
「私はあなた方の誰よりも多
くの異言が語れることを神に感
謝します。しかし、私は他の人た
ちを教えるために教会では異
言で一万の言葉を語るよりも、理
性によって、5つの言葉を語る方
をとりまします。」

(コリント14:8-9)

これはコリントの教会を始め
として各地の教会に或る種の靈
的熱狂主義と呼ぶことができる
傾向が出て来たことを警戒した
ためです。靈的に熱心なのはよい
としても、そこから熱狂的な信
仰が生まれるのに対して、聖パウ
ロははっきりと否と言っています。
さて、現代は初代教会の時代
からは想像のつかない世俗化が
極限まで行き着いた時代です。
そのためにかえって宗教的な渴
望が今まで以上に増え拡がって
います。スピリチュアリズムの世
界的流行はその現われだと思っ
ます。
伝統的宗教は衰退して力を
失ったように見えますが、仏教で
もキリスト教でも顕教的な教団
宗教よりも、裏側というか、いま
まで陽の目を見なかつた密教的
な流派が脚光を浴びようにな
りました。キリスト教で言えば、
ギリシヤ正教とか西方教会の修
道的なキリスト教が見直される

ようになったのです。そして、宗
教は国境や文化の違いを乗り越
えて人々を結びつける力を持つて
いることが再認識されるようにな
りました。
このような時代思潮のなかで
あらためて考える必要がある聖
霊の賜物があります。それは
「識別の霊」ということです。この
重要性について聖パウロは次のよ
うに教えています。
「み霊の火を消してはいけま
せん。預言を軽んじてはなりま
せん。すべてのものを識別して良
いものを守り、あらゆる種類の悪
いものから遠ざかりなさい。」(テ
サロニケ1:5, 19-22)
現代のような変革の時代に生
まれ合わせた幸運を感謝しなが
ら「識別の霊」をしっかり保つて、
何が正しい霊であり、何が邪悪
な霊であるかを識別し、しかも
その主体は私たち自身であつて
はならないのです。常に聖霊の導
きを祈り求めながら、すべてを
識別し、吟味していくことこそ、
わたしたちの信仰が成長してい
く証しです。

牧師動静

- 12月 17日(水) 灰の祝別式・聖餐式
- 20日(土) 臨時教区会
- 21日(日) 大斎講話I「人間を探し求める神」
- 23日(火) 山手グループ教役者会
- 28日(日) 菅原久平兄証し
- 3月 7日(日) 大斎講話IIマタタ神父「21世紀におけるキリスト教会への挑戦」、読書会第2回「現代人はキリスト教を信じられるか」
- 8日(月) 小笠原汎兄見舞い(初台リハビリテーション病院)
- 11日(木) 沖島幸子宅家庭集会
- 12日(金) 原活葉姉宅訪問、聖書を読む夕(ヨブ記輪読会)
- 13日(土) 山手グループ静想会(ナザレ修女会)
- 14日(日) 大森万里子姉証し
- 15日(月) 園田和江姉見舞い(船橋医療センター)
- 22日(月) 第111(定期)教区会
- 24日(水) 廣澤敏明司祭退職記念礼拝
- 25日(木) 鶴牧集会
- 31日(水) 小笠原汎兄見舞い
- 4月 1日(木) 教区聖木曜日礼拝(司祭の約束更新・聖油祝別)
- 3日(土) ヴィジル礼拝
- 4日(日) イースター礼拝
- 9日(金) 聖書を読む会
- 10日(土) 故竹股香織姉逝去者記念式

- 13日(火) 山手グループ教役者歓迎会
- 15日(木) 鶴巻集会
- 17日(土) 故竹股香織姉埋葬式(多摩墓地)
- 18日(日) 加藤史人兄、幸姉、結婚講座
- 21日(水) 奥田教幸兄、塗油式(東京女子医大病院)
- 22日(木) 奥田教幸兄、逝去の祈り、秋山良江姉、逝去の祈り
- 23日(金) 秋山良江姉、納棺式、奥田教幸兄、納棺式
- 24日(土) 故中島未知姉三周年記念式
- 25日(日) 千住キリスト教会委員会
- 26日(月) 奥田教幸兄通夜式
- 27日(火) 奥田教幸兄葬送式
- 28日(水) 秋山良江姉通夜式
- 29日(木) 秋山良江姉葬送式
- 5月 2日(日) 読書会「現代人はキリスト教を信じられるか」
- 6日(木) 教区教役者歓迎会(聖バルナバ教会)

(定期プログラムは外してあります)



教会名簿の改定

転居などによる変更を手直し
するために2010年度版の名
簿が作成されました。今回は2
008年度版よりもコンパクトな
仕様(B5判)となっています。全体
の大きさは小さくなりましたが
文字の大きさは変わっていないの
で読み難くはなっていないと考
えています。
今回も前回同様ご希望される
方のみにお渡しいたしますので、
ご希望の方は総務の委員までお
申し出ください。尚、変更、訂正、
記載についての質問などがあり
ましたら総務委員までお知らせ
ください。

★名簿は大事な個人情報ですの
で保存にお気を付け下さい。



教区信徒代議員選挙規則改
正の経緯と背景

寺内安彦

今年2月の信徒総会で教区会
に出席する信徒代議員の選出方
法が改正されました。今年12
月の教会委員選挙と同時に毎
年、成年現在受聖餐者全員の中
から3名を選挙で選出すること
になりました。東京聖三教会に
とっては長年にわたる慣習を変
える大きな改正でした。皆さん
には改正する理由をご説明する
ため「提案理由」を総会資料に
添付してお届けしました。本稿
ではその内容を繰り返し解説す
るよりはむしろ、これまでの経緯
と背景をお話することで改正の
意味をより一層ご理解して頂け
れば幸いです。

昨年9月に長谷川司祭から、
「前回の信徒総会の決議により
教区信徒代議員選挙規則を改
正する新しい委員会を設けるこ
とになった。ついでには修正案を
作る検討委員会を立ち上げて欲
しい」との要請を受けました。そ
こで、尾澤うめ子、田島信次、本
多峰子、八幡真也の各氏に委員
を引き受けて頂き、修正案の検
討を始めました。最初の委員会

で解ったことは、信徒の大多数は
教区信徒代議員とは何をする
人達か知らないし、聖三の代議
員は誰かすらも知らない、とい
う現実でした。

私が初めて信徒代議員を務め
た時は、牧師から直接指名され
ました。当時は他の教会でも大
方は牧師が信徒代議員を任命
するか、教会委員の中から選ん
でいました。その後、聖三教会で
は牧師も代わり、毎年其の年の
新教会委員5人が互選で1人を
選び、任期中信徒代議員を務め
る方式に変わりました。更に去年
までは、教会委員会で毎年3名
を選出していました。加えて、教
会信徒に向けて教区会の報告
を殆どしなかったし又、したとし
ても至極お座なりでしたから、
信徒はつんば敷敷同然の状態に
置かれていた訳です。これでは信
徒が教区会や信徒代議員に関
心が薄かったとしてもいた仕方
ありません。

そこで、検討委員会は皆さん
に「教会委員と教区信徒代議員
とは何が違うのか」又、「何故規
則を変える必要があるのか」の
疑問に答えることが第二の課題で
あるとの結論に達しました。そ
の結果が先の「提案理由」を作り
別途お配りすることになった訳

米寿を迎えた私のつづき

菊池英男

今年、米寿と共に結婚60周年
を迎えます。これを機に戦争が
私の信仰にどう影響したか、振
り返えつてみました。

小学2年の時、香港・聖公会の
教会で受洗、1942年、大学を
卒業するまで信徒として教会生
活の日々を送りました。卒業と
同時に当時の男の義務として軍
隊に招集され、フィリピン戦線に
派遣されました。太平洋戦争が
始まって2年目で、フィリピンは
80%以上の兵士が戦死した激戦
地でした。私はいわば生き残り
の一人と言えるでしょう。それ
ともあれ不思議なことに私は戦
地にいる間、自分がクリスチャン
であることをほとんど意識しま
せんでした。フィリピンには至
所にキリスト教会があるのに私
はなぜ教会を忘れていたのか、い
まだに分かりません。

私は航空隊に所属していたの
で終日米機の銃爆撃を受け、私
は何回か戦闘機による直接、銃
撃を受けましたが、死の恐怖感
はほとんどありませんでした。こ
のような状況の時も神のみ姿を
見なかつたし、み声も聞きませ

です。
今、世界の聖公会に目を向け
ますと問題が山積です。就中、
女性主教、同性愛者の主教、同
性愛者同志の結婚と祝福の授
与、等の賛否を巡り欧米、アフ
リカの聖公会は今にも分裂し兼
ねない状況にあります。現に、是
等の問題は或る国の総会では賛
成可決され、或る国では否決又
は総会の議題にもされていません。
米国聖公会に至っては、是等を
総会で承認したにも拘わらず、
教区によっては反対し続け、遂
には米国聖公会を脱退、或いは自
分達で新しいプロビンスを形成す
る教区連合まで出来て仕舞いま
した。同性愛者聖職の問題はや
がて日本聖公会でも取り上げる
日が来ることでしょう。

一方、日本聖公会には固有の問
題があります。戦時中は「教会
合同」という大問題がありまし
た。最近では教育基本法改正反
対の総会決議がありました。現
在各政党が検討している憲法、
特に第九条の改正問題もいづれ
教区会や総会の議題に登ること
でしょう。昨今は多様な重大案
件が増えてきました。その結果
を左右するのは聖職と信徒夫々
から成る教区会や聖公会総会の
代議員です。

でした。

そのうちに戦況は悪化し、多
くの兵士がマラリア、赤痢などの
病魔に襲われ、食料、薬品も尽
きて次々と死んでいきました。1
945年8月15日、日本軍が全
面降伏した時は正直、ホッとし
ました。敗北感は全くありません
でした。捕虜収容所に捕らわ
れの身になり、そこで米国聖公
会の従軍牧師、コープ少佐に出
会い、そしてその時私はキリス
ト者としての自覚を取り戻しまし
た。彼は私が日本聖公会の信徒
であることを大変喜び、何かと
面倒を見てくれました。

戦禍の中ですっかり神を忘れて
いた自分を見捨てなかつた神への
感謝と喜びに満たされました。
私のような幼児洗礼を受けた者
はともすれば、慢性クリスチャ
ンになりがちなのかも知れませ
ん。最近の聖公会の信徒の減少、
伸び悩みは、私たちが大切なこ
とを忘れていたためではないかと
思うようになりました。私たち
は主日を守り、聖餐にあずかつて
います。しかし、私たちは洗礼を
受けた時に、神よりキリストの祭
祀職(司祭ではない)に任せられ、
また聖餐式の最後の感謝祈禱の
中でも「どうか聖霊によって私
たちをこの世に遣わし、み旨を行

此の様に信徒も参加して選挙
した代議員によって、重要事項が
決められていく議会制を布いて
いるのが聖公会ですし、「憲法
規」に成文化されているのですか
ら、私達の信徒代議員選挙規則
も又「憲法法規」の定める規則、
即ち、今度改正された規則がよ
り望ましと言えます。

訃報

アグネス秋山良江姉、4月22日
逝去されました。享年84歳。

奥田教幸兄 4月22日逝去さ
れました。享年94歳

ご冥福をお祈りします。



が、私は毎年行われている教会の
チャリティバザー、池の上商店
会のバザーへの積極的参加は、与
えられた身近な素晴らしい機会
だと考えています。
長寿と共に恵まれた60年の結
婚生活に感謝しつつ。

川 寄 和 香 葉

遠い空 ハイチの子らは神様を
それともぼくらを恨むだろうか
異教徒を 狩れと命じる神様は
居ないと欲して欲しいよA-I-I-A-H
銀色の 電源プラグをさし込めば
私の鳥も歌を歌える



聖鐘歌壇

ばら

三神敬也

昇天日 からの花のラツバ吹き
天国の つなぎ届くやばら光る
生かされて いる夏柑の花白く

本多峰子

淋しさを 遣らう術なく行く旅の
エルサレム、花咲きていま
現にし ガリラヤの野を行く嬉しきや
声に教うる春の花々
ヘルモンの 一つ高嶺に残る雪
春の霞に空に溶けつつ

追悼

秋山良江さんの思い出

久野早苗

良江さんがヘルペスに罹られたと伝え聞いて案じていました。ご主人によると、日常生活が全く無気力になり、大好きだった油絵も描かなくなつたということでした。それでもいずれ元氣になり、いつものように「聖書研究会」に顔をみせてくれるに違いないと思っていました。しかし、ある日突然、意識不明で人工呼吸器と聞き、それから間もなく、神さまに召されたという訃報に息が詰まるほど驚きました。



思えば何十年にもわたる教会生活の中で良江さんとの思い出は尽きることはありません。

委員として、婦人会長として、また恒例のチャリティーバザーの献品整理や根付け、飾り付けとして販売など積極的に参加されました。又教会台所の食器戸棚の整理、浅草まで食器の買出しに一緒に行ったことなど、教会生活の裏方として献身的に働かれていたことが昨日のことのように思い出されます。

聖研の帰り道、下北沢の喫茶店でお茶を飲みながらよく雑談を交わしました。常に笑顔で絶やさず優しく語る明るい方でした。「私は仏教の学校に行つたからクリスチャンとしては本物かどうか：」とよく言われましたが司祭一家の一員としてよく家族を支え、ご苦労されてきたことを私たちは良く知っています。

その良江さんの姿を見られなくなつた今、限りなく寂寞の思いでいっぱいです。告別式の時の写真があまりにもいつもの良江さんなので涙が出てしまいました。これから良江さんが描いた聖母子像を見るたびに良江さんを出すとします。天国からご主人さまはじめご家族を見守つてあげてください。

「よきサマリア人法」があれ

某日刊紙に掲載された有る産科医の手記を読んで「なるほどな」と思わずつぶやいた。この記事は新幹線の車中で体験した産科医の感慨である。

「急病人が出ました。お客さまの中にお医者さまはいらっしゃいませんか」という放送を聞いたこの産科医は、混んでいる車内を抜けて現場に行くことと男性が倒れているのを見た。産科医なので女性しかみることがないので、そのまま通り過ぎようとしたが、考え直して診察した。本来は停車しない駅で列車を止め、救急車で患者を搬送して事なきを得たという。この産科医が急病人を診るのを一瞬、躊躇した理由は、必ずしも患者が男性だったためだけではない。

このような緊急時の場合どう対応すべきか、医療従事者の間で議論があるところだ。この産科医が救命処置をしたことで、万一、患者の容態が悪化し、亡くなつたらどうなるか。

日本の法律では産科医の責任が問われ罰せられる可能性はゼロではないと言ふのだ。欧米では



(編集子)

通称「よきサマリア人の法」というのがあつて、「緊急事態においてなされた救急措置は、救助者の責任は問わない」と明記されているという。「日本にはこのような法律がない」ということが、医師が名乗り出る際の心理的ハードルの一つになつてくることは確かだ。緊急時に安心して医療者がお手伝いできるようにこのような法律があればいいのにと常々思っている」とこの産科医は述懐している。

さてこの「よきサマリア人法」なる話、社会の中で起きている日常的矛盾、不合理のつだが、今でもこの話は私の胸につかえている事柄の一つである。

祭壇の花瓶が新しくなりました

3月28日 棕櫚の日曜日、祭壇で使われる新しい花瓶が祝別されこの日から使われるようになりました。



皆さんも覚えていらつしやると思いますが、4年前鉄製品品の盗難事件が頻発していた時に教会にも泥棒が入り、長い間礼拝で使われていた花瓶一対が盗まれてしまいました。それから何種類かの花瓶が交互に使われていましたが、以前のものと同じような形になるように特別注文をして今度のものになりました。

イースター

毎年歌われるようになったハレルヤコーラス。インターネットの環境がある方は三教会のホームページで、ムービーとしてご覧になれます。残念ながらテレビのようにきれいな画面ではありませんが全曲聴くことができます。一度のぞいてみては如何でしょうか！



イースターの時は年に1度の全員写真を撮りますが去年から20年ぶりに屋外で撮影しています。天気さえ良ければ撮影条件はずっと良くなるようです。現在教会に保存されている一番古いイースターの写真は1976年撮影のもので、少し欠落はありますがかなり揃っています。

グリーンデー・ピクニック

田島昌子

山手教会協議会恒例のグリーンデー・ピクニックが、今年も4月29日に聖公会神学院校庭で開催された。

★礼拝 今年の当番教会は聖十字教会。午前10時30分須賀義和司祭の司式によって開始。

前日まで雨に洗われた神学院の校庭は、新緑の木々が美しく輝き清々しい。老若男女信徒の歌う聖歌4番は、「けさもわたしの小さい口よ」で始まる可愛い賛美。続く聖書のお話は、聖愛教会聖職候補生・倉沢太郎先生。ルカによる福音書10章30節〜35節のサマリア人の物語。「エルサレムからエリコへ行く途中に、追はぎに襲われ、怪我をした人を助け宿屋に連れて行き、お金を渡し介抱をしてもらうよう計らつた」というお話。

通り過ぎてゆく人たちの中で、ただ一人、手筈を整えたサマリ人のこの行為を、倉沢先生は「勇気」と言う言葉に置換えられた。その優しい語り口は、聴く者たちに何かを気付かせる柔らかな静けさを覚えた。

★ミニ運動会とバベキユーと今年

のミニ運動会は、聖マーガレット教会が担当。少々乱調気味の天候の中でも休むことなく、シッポ取り・パン喰い？競争等々と続くとやがて待望のバベキユーの昼食に。焼きそば・お肉に野菜にとたつぷりのご馳走に飲み物の数々。各教会有志の影の働きに感謝しつつ、再び午後の競技が始まる。大イベントは何時もなく綱引き。大歓声の内に、心地よい疲れを覚えながらプログラムは終了した。

★閉会礼 礼拝最後に、聖歌562番「キリストのへいわ」と共に捧げられた「ハイチ地震被災者」への献金は総額36,028円に。4教会の参加者は130余名との報告。三教会は32名(小学生8、幼児6、大人18)の参加だった。

近隣の友人家族を誘つて楽しんだ三ファミリーのことも報告したい。そこで、毎年気になるのが4教会交流のプログラムが無い事。折角御名の下に出会つた「信徒の集い」なのに。小さな交わりが生まれる小さな企画を来年は期待したい。



教会委員会議事録抜粋2009年10月～12月

<1月>

- ・受聖餐者総会資料および説明用予算決算を承認した。
- ・信徒代議員選挙検討委員会。2010年度12月の選挙から実施、の議題を受聖餐者総会に提案する。
- ・2010年度信徒代議員。本多峰子さん、加藤啓子さん、小笠原汎さんが教会委員会で選出された。
- ・2010年度教会委員の役割分担を確認した。
- ・2010年度谷中墓地担当委員に本多峰子さんを選出。
- ・宣教委員会「家庭集会」について。家庭集會会場申出者7名と働きグループ「家庭集会」メンバー3名、宣教委員会委員長とメンバーとが、長谷川司祭の趣旨説明をもとに実現の方向性を考えることを決めた。

<2月>

- ・受聖餐者総会議事録の取り扱い。2006年に「欠席者に総会議事録を送付すること」の決議を本年確認したが、今回は総会議事録をメールボックスに入れて全員に配る。今後もこれを継続する。
- ・「陽だまり」の例会は偶数月の第4主日開催に変更。

<3月>

- ・今年度の信徒奉事者。矢野敬子、中野誠、村上道夫、砂田郁郎、本多峰子、湯田正範、中込禎代、以上7名を主教に推薦した。
- ・臨時教区会(2月20日)報告。月島聖ルカ保育園建て替えに関する4つの議案を可決。
- ・光熱費削減。床暖房の省エネ対策として、礼拝堂に、2台のストーブと自動給油タンク設置を承認した。
- ・イースターヴィジル礼拝は4月3日(土)17時に行う。
- ・新入学・卒業を祝い、森田胡桃さん、櫻井奈央さん、津村杏奈さん、松林麻衣さん、中込玲緒奈さん、櫻井麻理さん、村上信夫さん、川崎和香葉さん、松林麻美さん、以上9名の方にプレゼントをする。
- ・山手教会グループ協議会報告。今年の当番教会は聖十

字教会。担当者砂田郁郎さんと、教会委員会から新担
当者として加藤望委員が加わる。

<4月>

- ・植田仁太郎主教は4月1日より公務に復帰された。
- ・聖書台と洗礼盤が完成した。聖書台の聖別は聖霊降臨日に行う。洗礼盤の聖別は主教巡回日に予定。
- ・教区印刷物の取り扱い。「献金のつとめカード」および「聖職に召される人びとのために」の祈りカードの扱いについて協議した。
- ・バザー委員長人選の件。2010年度委員長は加藤望さんに決定した。
- ・月島聖公会の募金の依頼について。老朽化した教会・保育園等を新築する。月島聖ルカ保育園は、新しい社会福祉法人を作り新築される。あわせて月島聖公会の聖堂と牧師館が建築される。このことが2月20日の臨時教区会で決議された。この新建築のため東京教区33教会に寄付金目標額700万円の募金依頼がきている。
- ・オルガニスト会報告。7月4日にオルガン奉獻30周年記念コンサートを予定している。
- ・礼拝関係報告。後藤務さんのアコライト指導が3月21日に行われ、中高生9名の多数参加であった。
- ・メンテナンス。電話機のリース更新、子機減を行う。
- ・会計報告。月約献金は3月までの達成目標率25%に対し、達成率17.4%の状態であった。



古い聖書台は健在です

30年ほど前まで礼拝で使われていた聖書台を覚えていらっしやいますか？この格調高い聖書台は今トリニティーハウスの2階の部屋に置かれています。脚の部分が不安定になったため何度も修理を重ねましたが危険なので使われなくなりました。



この聖書台が使われていた時期には、聖書本体も3〜4キロ程ある講壇用聖書でした。更に字体系も変体仮名で印刷されていた事もあり、事前にしっかり目を通しておかないと心配になったものでした。

洗礼盤も旧婦人会の献金によって近々新しくなる予定です。

(千村雅信)



リレートーク

アウシュヴィッツから
ヤド・バシエムへ

森田麻里子

昨年3月末から8日間私は一人でポーランドのワルシャワとクラクフ、チェコのプラハを旅しました。ワルシャワ蜂起、アウシュヴィッツ、トレジーン収容所を訪ねる旅です。

クラクフは映画「シンドラーのリスト」の舞台です。近郊にアウシュヴィッツがあり、公認ガイドの中に中谷剛さんがいます。中谷さんの岩波ブックレット「ホロコーストを次世代に伝える」を持ち歩きながら、中谷さんにガイドをして頂きました。コルベ神父が身代わりを申し出られた場所には今もざわめきが聞こえるようです。アウシュヴィッツ、隣接するビルケナウ収容所は犠牲になった方々の血の涙を吸い込んだ、苦しみを記憶する場所です。敷地内にある花屋でチューリップの花束を求め、銃殺用の壁で祈りました。

クラクフからワルシャワに戻り、尾崎俊二さんの「記憶するワルシャワ」を片手に、ワルシャワ蜂

起の場所を探しました。ワルシャワの教会や街角には蜂起で犠牲になった方々のメモリアルプレートがあります。アンジェウイダ監督の「地下水道」のモデルになったレジスタンスのルート歩き、メモリアルプレートの前で祈りました。すでに4月になっていくというのに、急に小雪が舞い、道に迷いました。辿り着いた公園はユダヤ人のゲットー近くの公園でした。映画「戦場のピアニスト」はゲットー蜂起、ワルシャワ蜂起を描いていますが、ゲットー蜂起もワルシャワ蜂起も悲惨な結末でした。追いつめられたユダヤ人を命がけで救ったカトリックポーランド人もいますが、「ワルシャワ蜂起の中にもユダヤ人差別があった。」とホロコーストを生き抜いたユダヤ人女性ミッドラッドカさんが「壁の両側」で述べています。差別の根深さに愕然とします。

今年4月15日から28日まで東京教区「新しい聖地旅行」に参加しました。ザクセンハウゼン収容所、ダッハウ収容所を訪ね、アウシュヴィッツに辿り着いた私にとつて、イスラエルはホロコーストをどの様に記憶しているのか、気になりました。

26日の自由行動の日にヤド・バシエム(ホロコースト博物館)を訪

ねました。エルサレム旧市街ダマスカス門で他のメンバーと合流する事になっていたので、3時間だけの訪問でした。資料は膨大で、十分展示を観られなかったのですが、「中世ヨーロッパでユダヤ人は強欲な拝金主義者と思われていた。」という展示は、ユダヤ人にとつて危機への警鐘なのだと思います。最終展示は「父なる土地に帰ろう」と子どもたちが歌う映像です。ヤド・バシエムはイスラエル国家成立の正当性の証の役割を担っていました。

ホロコーストを記憶し、犠牲になった方々を悼みながら、イスラエルはパレスチナ人を弾圧しています。かつてユダヤ人は「強欲な拝金主義者」というレッテルを貼られ、差別されましたが、今はパレスチナ人に「テロリスト」のレッテルを貼り、土地を奪い、生存権を脅かしています。「新しい聖地旅行」で出会ったパレスチナ人クリスチャンは困難に耐え、非暴力で抵抗していました。

7月に「新しい聖地旅行」に報告書が出ます。広河隆二さんの岩波新書「パレスチナ」も是非お読みくださいませ。



聖書台について
いままでも祭壇の右側の空間が空いていて、左側の説教壇とのバランスがとれませんでした。新しい聖書台が設置され、色といいデザインといい、何年も前からそこにあったように祭壇の風景にしっかりと馴染んでいます。



これは飛驒の「あぶらむの里」の大郷博氏(元立教大学チャプレン)の制作によるもので、2年間かけて発注したものが、このたび完成しました。(洗礼盤も出来ました。)

新しい礼拝学によれば、祭壇の配置も斬新なアイデアが生かされる場合がありますが、当教会の聖堂建築からすれば、やはり伝統的な形がぴったりするように思います。み言葉が語られる器として活用したいものです。(長谷川司祭)